

実践例 県立小山南高等学校

教科・科目等 ホームルーム活動（1～3学年）

本時の目標

グローバル化する現代社会において、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性を理解する。

育てたい資質・能力等

外国人が日本で生活する上での「生きにくさ」を把握し、日本に住む人間としての配慮事項について理解する。（知性）

教材 タブレットPC、「人権の窓」（外国人の人権編）（高校生用）

展開

●人権教育講演会「『子どもの権利条約』と人権について」の講話を聞く。講話の内容を振り返りながら、「人権の窓」（外国人の人権編）の内容について学習する。

●栃木県内の在住外国人の人数を知り、「多文化共生社会」の必要性を確認する。



●人権の窓（外国人の人権編）【2. 考えよう】の「ゴミ捨てのルール」を見て、双方が困っていることを解消するためにできることについて考える。



※生徒会役員は JICA 筑波高校生国際協力実体験プログラムに参加し、そこで学習した「多文化共生」についての内容と関連付けて今回の学習を行っています。